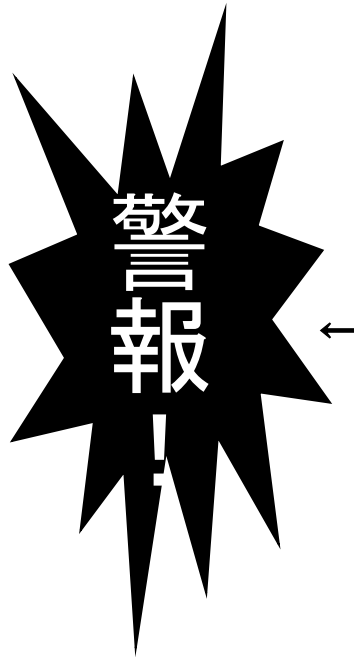
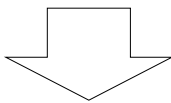


出願注意報



- ・✗切当日に書類を作って出す
- ・✗切当日写真がないことに気づく
- ・✗切数日前に書類の作成を失敗しても用紙がない
- ・願書は提出したが入れ忘れた書類があつて受け付けてもらえない などなど



○校内の提出

- ・✗切の前日には提出する

○受験校への提出

- ・受付開始日に届くよう出願する
(何かあつても対処できる可能性大)

※必要な書類作成をいつやればよいのか、手帳を活用して確実に行う

出願に対する緊張感を持つこと

一部の特別な人の話をするつもりです、という前置きをあえてしながら、ここ1、2週間で起こった出来事から考えてみたいと思います。受験に対する君たちの意識は、どうなっているのかと、心配になることが何度もありました。提出期限の厳守をより更強調しなければならぬのは、つまり、教員が、君たちに対して親切(?)すぎたのではないのでしょうか。提出する書類を確認して出願すること等、初めて聞いて、初めて考える行動ではないでしょう。教員が生徒に事前に確認すべき内容のレベルはどこまででしょうか。そのレベルを簡単に越えてしまう人がいます。とても悲しいことです。誰でも失敗はあります。でも、失敗しないための準備をした結果だろうか。この文章が単なるつぶやきで終わって欲しいと思います。何とかなつたから、という危ない橋は絶対に渡らないで欲しい。

進路関係の手続きで、かなりの人が企業や大学に書類を提出しています。きちんと手続きできた人が多いはずですが、その中でいろいろ危ない場面がありました。

上枠内に書いたことはその一部ですが、どれも早めに準備して念入りに確かめていけば起こらなかつたことばかりです。学年で最初の「進路ガイダンス」をした折から、「早目」を繰り返言われているはずですが、次々と心配なことが起きてしまつた裏には、**自分事としてとらえていないことと、最後は誰かが何とかしてくれる、**そういう気持ちがあるのではないのでしょうか。勿論担任の先生方は一生懸命カバーしてくださっていますし、進路指導部もできる限りを尽くします。ですが、これまでは何とかなつたからいいものの、どんなに高校からお願ひしても、**ダメなものダメなことがあります。**しっかりと自分が確かめて、余裕をもって出願してください。

自分で準備して手続きできることは、大人として必要な力です。



早くも10月が終わろうとしています。3年生のみなさんは2月、3月は登校しない日がほとんどです。全部登校するのは残すところもう3か月となつてしまいました。進路のことだけではなく、授業からしか学べないこと、かけがえのない友との時間、本当に今を大切に過ごしてください。信頼される人間になつてください。